

看護部紹介

私たちと一緒に
働きませんか？



独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)

天草中央総合病院

看護部の概要

理念

心を込めて信頼される看護を提供します

基本方針

- 1 患者様の気持ちを大切にし、満足していただけるよう努めます。
- 2 安全で快適な療養生活の提供に努めます。
- 3 地域と連携した看護を目指します。
- 4 日々研鑽し、看護の質の向上に努めます。

看護職員数

| | |
|-------|------|
| 保健師 | 4名 |
| 助産師 | 12名 |
| 看護師 | 117名 |
| 准看護師 | 9名 |
| 療養介助員 | 16名 |

入院基本料

急性期一般入院料 4

(看護職員配置 10対1)

新人採用数

| | |
|---------|-------|
| 2020年4月 | 6名 |
| 2021年4月 | 8名 |
| 2022年4月 | 12名 |
| 2023年4月 | 13名予定 |

年々増えています

看護ケア提供システム

固定チームナーシング
受け持ち看護師制
一部 機能別看護

部署

2階

・ 2階病棟 (35床)
産科 婦人科

3階

・ 3階病棟 (一般50床)
外科、口腔外科、皮膚科 他
地域包括ケア病床 (10床)

その他

手術室・中央材料室
地域医療連携室
訪問看護ステーション
介護老人保健センター

4階

・ 4階病棟 (60床)
内科 脳神経外科 放射線科 他
感染症病床
結核病床

特徴



- ⊕ 一般病床（急性期）で、基本的な看護技術について学ぶことができる。
- ⊕ 産科外来、産科病棟で妊産褥婦、新生児に関わる母性看護について学ぶことができる。
- ⊕ 地域包括ケア病床、附属施設として、さわやかランド（介護老人保健施設）、訪問看護ステーション、居宅介護支援センターがあり、退院支援を含め、地域包括ケアシステムについて学ぶことができる。

勤務体制

勤務時間 4週155時間勤務（4週8休制）

◎外来部門

| | | |
|------|----|------------|
| 勤務時間 | 日勤 | 8:30~17:15 |
|------|----|------------|

◎病棟部門

2020年2月より 2交代制を導入しました

| | | |
|------|-----|-------------|
| 勤務時間 | 日勤 | 8:30~17:15 |
| | 長日勤 | 8:30~21:00 |
| | 夜勤 | 20:15~9:00 |
| | 遅出 | 12:15~21:00 |

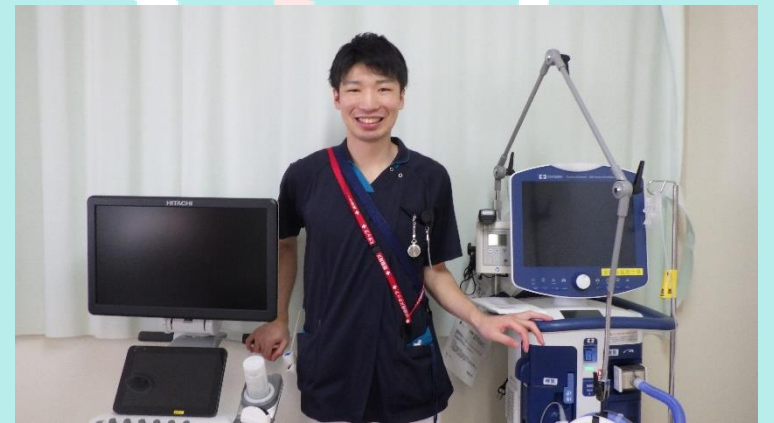
夜勤はボルドー色の
のユニフォームです



2021年10月より ユニフォーム2色制を導入しました

教育体制

教育方針



- 1 病院・看護課の理念・方針に基づいて、質の高い看護を提供できる看護師を育成する。
- 2 自己研鑽に努める看護師を育成する。
- 3 新人教育・現任教育・看護研究を教育の柱とし、それぞれの立場・役割を踏まえ、段階に応じた教育の機会を提供する。
- 4 社会の動向・医療環境を踏まえ、各自の地位・役割に応じた研修・学会参加の機会を提供する。
- 5 ラダーシステムに基づいて、臨床看護実践能力が高められるよう、看護実践・管理・教育・研究に必要な知識・技術・態度に関する学習の機会を提供する。

目指す看護師像

- 1 自分の行う看護に誇りを持ち、職務を果たすことができる。
- 2 自分の職務に対して最善を尽くし、その結果に対しても誠実に向き合うことができる。
- 3 医療チームの一員として円滑な人間関係を保ち、チーム医療の充実を図ることができる。
- 4 専門職として自己研鑽に努めることができる。

活躍するスペシャリスト達

がん化学療法看護認定看護師 須崎 了子

がん化学療法は、がんの早期から終末期まであらゆるがん腫に対して行われます。長い治療期間の中で、患者様や御家族が安心して納得のうえ治療を受けること決定し、自分らしい生活と両立させて治療が継続できるよう、多様なニーズに対応した全人的ケアを提供しています。また、がん化学療法を安全・安楽・確実に実践するため、チーム医療として医師や薬剤師など多職種と連携・協働し、システム整備やケア向上に努めています。

がん性疼痛看護認定看護師 宮川 まゆみ

がん性疼痛認定看護師として主に薬剤の鎮痛効果や投与経路、副作用を評価し、個々に合わせた疼痛コントロールができるようにと常に考えています。

患者様に合わせた治療ができるように医療チーム内で情報共有し、少しでも痛みのある患者様の苦痛軽減のために、関わっています。

感染管理認定看護師 荒木 直美

2010年に感染管理認定看護師の資格を取得し、現在は専従で感染防止対策室に勤務しています。近年、感染症を取り巻く状況は日々変化しています。その変化に対応するため、感染制御チームのメンバー（医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師）と共に感染対策の検討や定期的な巡視を行い院内の感染防止に努めています。今後も、患者や職員、来院される全ての方を感染症から守ることをモットーに、活動の幅を広げ、よりよい感染対策を推進していきたいと考えています。

感染管理認定看護師 坂本 陽子

私が感染管理認定看護師の資格を取得したのは2015年です。660時間という長い教育課程は厳しいものでしたが、修了できたのは職場や家族が全面的にサポートしてくれたおかげです。現在は、内科病棟に勤務しながら「医療を提供する場で働くあらゆる人々および患者とその家族を医療関連感染から守る。」という役割で、最新の専門的知識・技術を用いながら感染防止に努めています。毎日が充実しています。

緩和ケア看護認定看護師 川上 ゆみ

がんと診断された時から、患者様とご家族の苦悩は計り知れないものがあると感じています。がんによる痛みやご家族の苦悩に寄り添いながら、専門的知識と技術に基づき全人的ケアを提供します。全人的ケアとは、痛みなどの身体的痛み、不安などの精神的痛み、仕事や家族などの社会的痛みに対してのケアのことをいいます。がんとともに生きる方のサポートをさせていただきながら、人としての尊厳や命の尊さを日々学んでいます。

Message

志垣 貴駿（2021年入職 看護師 熊本市医師会看護専門学校 第1看護学科卒）

来春より、天草中央総合病院へ入職して3年目を迎えます。私の所属する4階は内科病棟で、主にがん治療や肺炎などの呼吸器疾患で入院される患者の看護をしています。

疾患や治療内容など多様にある中で、日々の学習は大変ですが、その分多くの経験ができ、学習した知識と経験によって臨床での自信に繋がっていると感じています。

当院ではスタッフみんなが1人1人のサポートを行う体制をとっており、報告・連絡・相談がしやすく自発的に学べる環境であるのも魅力の一つです。

私は熊本の出身で、天草の地で働くことに不安を抱いていましたが、天草の方は皆さん心暖かく、地域との交流も多く生活するのにとても良い環境です。

臨床を通してたくさんの学びや経験をしたい方や地域に根付いた看護をしたいと思う方は是非天草と一緒に働きましょう。

井坂 七海（2022年入職 看護師 上天草看護専門学校 看護学科 卒）

はじめはわからないことばかりで不安もありました。しかし、プリセプターの方や病棟スタッフの皆さんに優しくご指導いただき、臨床の場でしか学べない知識や技術を身につけることができ、少しずつできることが増えたことで、自信や成長に繋がっています。また、新人教育が手厚く、集合研修やローテーション研修などもあるため、幅広い知識・技術を身につけることができます。

今後も患者様に寄り添い、患者様にとってより良い看護が提供できるように努力していきます。

武田 彩花（2022年入職 看護師 天草市立本渡看護専門学校 看護学科 卒）

3階病棟（外科病棟）で勤務しています。勤務して初めの頃は、慣れないことや不安なことも多々ありましたが、先輩看護師の丁寧なご指導の下、今では日々業務を遂行できるようになりました。看護学生の皆さんは、実習や日々の学習は不安なこともあり、毎日大変だと思いますが、必ず就職してからも自身の看護に生かせることが沢山あります。体調管理に気をつけてこれからも理想の看護師像に向かって頑張ってください。そして一緒に働けることを楽しみにしています。お待ちしております。

岡崎 瑠花（2022年入職 助産師

（天草市立本渡看護専門学校看護学科 熊本看護専門学校 助産学科 卒）

私は、産婦人科病棟で助産師として勤務しています。分娩係・新生児室・褥婦や他科の受け持ちなどを経験しています。看護技術・業務、助産技術など、先輩にご指導いただきながら、日々頑張っています。小さい頃から目標としていた助産師として、産婦・褥婦・新生児と関われること、先輩方にたくさん助けていただきながら毎日多くの看護・助産技術を学ぶことにやりがいを感じています。

JCHO天草中央総合病院 クリニカル・ラダー

レベルⅠ：新人、2～3年、中途採用 レベルⅡ：2～5年 レベルⅢ：4～6年 レベルⅣ：5～8年 レベルⅤ：6～10年以上

| 定義 | | レベルⅠ | レベルⅡ | レベルⅢ | レベルⅣ | レベルⅤ |
|----------------------|---------|---|---|--|--|--|
| JCHOのミッションに基づく統合的な目標 | | ・助言のもとに安全な看護ができる ・組織の一員であることを自覚し、他者に対し丁寧な対応ができる | ・地域における自施設の機能を理解できる。 ・地域医療および地域包括ケアチームの一員として、看護職に求められる役割を考へ行動につなげることができる | ・地域医療および地域包括ケアのチームの一員として、患者および家族、地域の人々の生活上のニーズに応えるために積極的に問題解決に参画できる | ・患者および家族の地域における生活上のニーズを把握し、医療者のニーズと統合したケアを提供するためにリーダーシップが発揮できる | ・地域関連施設と連携を図り、ケアを継続できる ・患者および家族の地域における生活上のニーズを把握し、医療者のニーズと統合したケアを提供する実践モデルとして行動できる |
| レベル毎の定義 | | 基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を得て看護を実践する | 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する | ケアの受け手に合う個別な看護を実践する | 幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する | より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する |
| ニーズをとらえる力 | レベル毎の目標 | 助言を得てケアの受けてや状況(場)のニーズをとらえる | ケアの受けてや状況(場)のニーズを自らとらえる | ケアの受けてや状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる | ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる | ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえてニーズをとらえる |
| | 行動目標 | ◆助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ◆ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる | ◆自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ◆得られた情報をもとに、ケアの受けての全体像としての課題をとらえることができる | ◆ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個別性をふまえて必要な情報収集ができる ◆得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる | ◆予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ◆意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる | ◆複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる ◆ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる |
| ケアする力 | レベル毎の目標 | 助言を得ながら、安全な看護を実践する | ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する | ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する | 様々な技術を選択・応用し看護を実践する | 最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する |
| | 行動目標 | ◆指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる ◆指導を受けながらケアの受け手に基本的援助ができる ◆看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる | ◆ケアの受け手の個性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる ◆ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる ◆ケアの受け手の状況に応じた援助ができる | ◆ケアの受け手の個性に合わせて、適切なケアを実践できる ◆ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる ◆ケアの受け手の個性をとらえ、看護実践に反映ができる | ◆ケアの受け手の顕在的・潜在的なニーズに応えるため、幅広い選択枝の中から適切なケアを実践できる ◆幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる | ◆ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追求できる ◆複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる |
| 看護実践能力 | レベル毎の目標 | 関係者と情報共有ができる | 看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる | ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる | ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる | ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす |
| | 行動目標 | ◆助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる ◆助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる ◆助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる ◆ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる ◆連絡、報告、相談ができる | ◆ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解した上で、それぞれと積極的に情報交換ができる ◆関係者と密にコミュニケーションを取ることができる ◆看護の展開に必要な関係者を特定できる ◆看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる | ◆ケアの受け手の個別なニーズに対応するために、その関係者と協力しながら多職種連携を進めていくことができる ◆ケアの受け手とケアについて意見交換ができる ◆積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる | ◆ケアの受け手がおかれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる ◆多職種間の連携が機能するように調整できる ◆多職種の活力を維持・向上させる関わりができる | ◆複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するため、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる ◆多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割担うことができる ◆関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる ◆目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる |
| 意思決定を支える力 | レベル毎の目標 | ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る | ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる | ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる | ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる | 複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる |
| | 行動目標 | ◆助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる ◆ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる ◆連絡、報告、相談ができる | ◆ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる ◆確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる | ◆ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる ◆ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを理解できる ◆ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる | ◆ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる | ◆適切な資料を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる ◆法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる |
| 遂行能力 | レベル毎の目標 | 組織の理念、ミッションを理解し、組織の一員としての自覚を持つ | 組織の一員としての役割を理解し、目標達成に向け主体的に取り組む | 所属部署の目標を意識した行動をとる | 日常業務や看護単位でのリーダーシップがとれる | 組織全体を見渡しつつ看護職の専門性と役割をふまえ、関連部署、他職種、地域関連施設との連携役を担う |
| | 行動目標 | ◆挨拶、報告、連絡、相談、自己の業務管理等、社会人・組織人としてのルールを身につけることができる | ◆業務の管理を自立して行うことができる ◆小さな気づきについても自ら問題提起することができる ◆健全な経営の理解につながるコスト感覚を身につけることができる | ◆患者全体、スタッフ全体に注意を払い、看護単位においてリーダーシップが発揮できる ◆チームの目標達成に向けて、割り当てられた役割が遂行できる ◆診療報酬制度等を踏まえながら医療対策に関心を持ち、医療全体を考える視点を持つことができる | ◆看護課の目標、看護単位の目標のための活動を推進することができる ◆各委員会活動のメンバーとして活躍できる ◆職場の業務改善のリーダーシップがとれる | ◆医療対策や診療報酬制度、および地域ニーズを踏まえて看護職のとるべき行動を表現できる |
| 教育 | レベル毎の目標 | 自己の教育課題を助言によって発見できる | 自己の教育的課題達成に向けた教育活動を展開する | 継続的に教育活動を展開する | 所属部署の教育活動において指導的役割を果たす | 組織的教育的活動における指導的役割を果たす |
| | 行動目標 | ◆必要な知識・技術を主体的に学習できる | ◆院内教育(研修会)などに積極的に参加できる ◆院内研修を生かし看護を実践できる ◆学生の学習目標に沿った教育・指導ができる | ◆教育活動の成果を所属部署に伝達することができる ◆自己のキャリアを展望し、専門領域に関する学習に取り組める | ◆専門分野に関して知識を深めて、スタッフに指導できる ◆専門領域や高度な看護技術等の習得に主体的に取り組める 組織ニーズを意識した自己のキャリア形成像が描ける | ◆専門領域や高度な看護技術等についての自己の学習活動を推進する ◆地域社会の課題等を踏まえて自己のキャリア形成を思考する |
| 研究 | レベル毎の目標 | 看護研究に関心を持ち、看護研究の必要性和基礎が理解できる | 自己の研究課題を明確にし、研究課題に取り組む | 所属部署における研究活動のリーダーシップがとれる | 所属部署における研究活動において指導的役割を果たす | 組織的研究活動を実践する |
| | 行動目標 | ◆助言を受けながら看護研究活動に参加できる ◆日常の看護実践において看護とは何かを考えることができる | ◆自身の看護実践を振り返り、事例検討ができる ◆看護研究の基礎と方法を理解し、指導の下、看護研究メンバーとして活動できる | ◆看護研究とその方法を理解し、所属部署における研究課題を見いだし、研究計画を立て積極的に研究に取り組むことができる ◆所属部署の研究活動のリーダーシップを発揮できる ◆研究を通じて看護を深め、自己の看護観を考えることができる | ◆研究活動を自己の看護実践に活かすことができる ◆専門分野における研究に取り組み、成果を発表できる ◆看護研究におけるクリティックを習得し、研究活動に活かすことができる | ◆クリティックを修得し、研究活動に活かすことができる ◆自己の専門分野において専門性を発揮する |
| 社会性 | レベル毎の目標 | 組織人としての接遇を身につけることができる | 相手を尊重した円滑なコミュニケーションができる | 相手の立場や役割を理解し、アサーティブな関わりができる | 相手の立場を尊重し、アサーティブなコミュニケーションをとることができる | 互いを尊重しながら、合意形成できる職場風土を醸成できる |
| | 行動目標 | ◆自分の思いや考えを他者に伝えられ、また他者の考えや意見をよく聞き尊重することができる ◆困っていること、悩みについて同僚やブラザーに相談できる ◆コミュニケーション技法を知ることができる | ◆自分およびチームメンバーの立場や役割を認識し、相互に肯定的な関わりができる ◆自己の感情、思考、行動の傾向を理解し、コミュニケーションをとることができる | ◆チームで仕事をする上で、相手を気遣い、良好な人間関係を保つことができる ◆自己の感情がコントロールでき、相互関係を深めることができる | ◆相手を尊重したよい人間関係を築きながら自分の考えを話すことができる ◆相手の立場や人間性を尊重し、人間関係が調整できる ◆院内はもとより、他施設や地域とのネットワークを広げ、活動することができる | ◆他の医療チームとの信頼関係を保ち、協働・調整ができる ◆院内外にネットワークをもち、共通目標達成に向けての活動ができる |
| 看護倫理 | レベル毎の目標 | 看護における倫理原則が理解できる | 看護実践の中で、倫理的問題の背景・価値の対立に気づくことができる | 患者の倫理的意決定支援を支えることができる | 発生している倫理的ジレンマの解決に向けて行動できる | 対象の生命観・死生観・倫理観を尊重し、アドボケイトとしての役割を果たすことができる |
| | 行動目標 | ◆日々の看護実践の中の倫理的問題に気づくことができる ◆個人情報保護に基づいた対応ができる | ◆助言を受けながら、インフォームドコンセントにおける看護師の役割を果たすことができる | ◆インフォームドコンセントにおける看護師の役割を果たすことができる | ◆倫理的意決定が必要な場面で、相手を支援することができる | ◆実践における倫理的な諸問題に気づき、他者と意見交換して問題解決につなげることができる |

【問い合わせ先】

天草中央総合病院

〒863-0033

熊本県天草市東町 1 0 1 番地

TEL : 0969-22-0011

<https://amakusa.jcho.go.jp/>

